

2021年度(令和3年度)
おきぎんふるさと振興基金

事業報告書

〈キャンプを通じた沖縄のアウトドア/自然環境保全と持続的な地域振興〉

2022.11.03
キャンプ沖縄事業協同組合
代表理事 下地 正敏
(文責:専務理事 久高 友嗣)

【本事業に至る経緯】

“近年、日本全国や沖縄においても年1回以上キャンプをされる「キャンプ人口」(2019年度 860万人)が増加傾向にあり、キャンプ/アウトドア需要が急激に高まっております。

そういった中、現在、沖縄におけるキャンプ業界において、以下のような状況が起こっております。

- 海岸や砂浜やこれまでは見られなかった場所での直火/焚き火の放置跡等の増加
(→それによる火傷やウミガメの卵などへの被害が報告されている)
- 山林や空き地等のキャンプ場への転換・開発の増加
(→運営や利用者次第では山火事等のリスクが高まる、土地利用への影響)
- 県外事業者(旅行業者、個人間マッチングのインターネットサービス事業者)の進出
(→事業者か否かやスキルの程度等によらず、一般の方が多少リスクのあるアウトドア体験を旅行者へ提供しうる状況)

もしこのまま一定の統制や仕組み等がなく無秩序に状況が進展してしまうと、沖縄の自然やアウトドア環境の保全に悪影響となることが予想されます。
それを防ぐため、下記取組等の実施をいたします。”

【実施事業・活動】

■1.キャンプにおけるマナー啓発

“キャンプや焚き火のマナー普及のためのアウトドアショップや市町村、指定管理者等との協業など”を実施しました。

それに関連する各種実施事項を列挙します。

・①焚き火の扱い方/マナーに関する資料/フライヤーの制作

浦添市港川に拠点を置く、総合アウトドア専門店「NEOS(ネオス)」と共同で制作。

ポイント

薪には大きく分けて焚き付けに最適な針葉樹と、火持ちの良い広葉樹があります。用途によって使い分けましょう。特性を把握すると燃える時間を逆算できて燃やし切る時間を調整しやすくなりますよ！
拾った薪は水分を多く含むことがあり、燃やすと爆発して火が跳ねたり煙が多く出ること。選ぶポイントは、パキッと簡単に折れる乾燥した枝です◎

HOW TO? 焚き火 基本のマナー

ルールやマナーを守ってみんなで楽しい焚き火ライフ♪
炭は自然には戻りません。
知っていましたか？！
意外と知らない焚き火の世界
この機会におさらいしてみましょう★

気をつけること

- 直火は許可された場所でのみ行おう
- 火の粉や煙の流れる方向に配慮し、強風時の焚き火は避けよう
- 枯葉や木、化繊タープなど燃えやすいものが近くに無いか注意しよう
- ゴミを焚き火に突っ込むと有害物質を発生させることもある。所定の場所に捨てよう
- 必要以上に炎を大きくし過ぎない
- 火から目を離さない。風で大切な道具が焚き火へダイブしてしまうことも…就寝前には消火しよう
- 焚き火台に直接水をかけて消火すると水蒸気や灰が飛び散り火傷の危険も。急激な温度変化で焚き火台が変形・歪みが出る場合もあるので、火消し壺などを利用しよう
- 炭・灰捨て場に捨てる場合は完全に消火して捨てよう

主な焚き火道具

- 焚き火台
- 耐熱焚き火台シート
- トング・火ばさみ
- ナイフ・鉋・斧（薪割り用）
- ライター・マッチ・ファイヤー スチールなど（火おこし用）
- 着火剤・麻紐・チャークロスなど（焚き付け・火口用）
- 火吹き棒 ● 耐火グローブ
- 水・火消し壺（消火用）
- 火の粉に強い服装

焚き火台を使う目的

後片付けを簡単に。地面へのダメージを最小限に抑えることはもちろん、次に同じ場所を使う方や管理されている方へ配慮し、後始末をしっかりと行おう。元あった状態に戻す景観への配慮も大切です

2021年度版 焚き火マナーページ

OUTDOOR SHOP NEOS CAMP O KINAWA

* 弊組合HPでの焚き火マナーに関する特設ページの公開

焚き火の3つのマナー

沖縄県カールスカウト連盟さま掲載より

- 1 木を燃やしたら、炭のままではなく、灰になるまで燃やそう。
黒い灰のままでは、自然で分解されるには相当の時間がかかる（100年とも言われている）
- 2 灰になったら、バケツなどに入れて広い範囲に散らしてまこう。
本燃焼後に炭から灰になると、灰の成分がカリウム、カルシウム、マグネシウムという、自然界に存在するものに変わるんだ。小さく焼いた灰は強でつまんで砕き小さくして薄く散らそう。
- 3 それらが難しい時は、燃やした炭や灰を持ち帰って燃えるゴミとして捨てること。

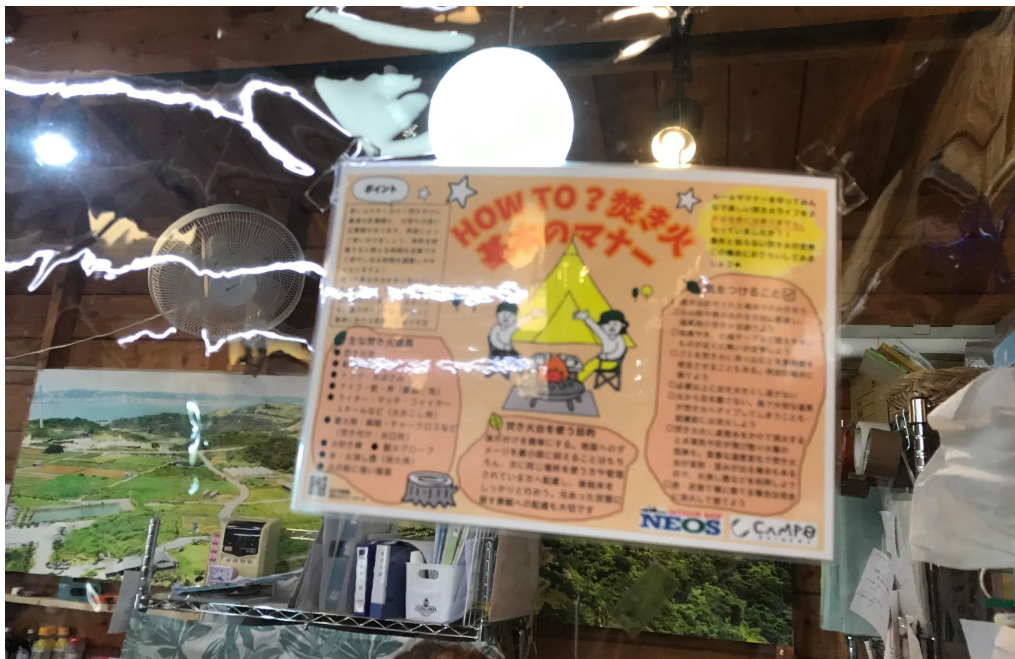
・イベントでの一般の方への配布・周知

ex. イオンモール沖縄ライカムでのアウトドア関連イベントにて 2021/09/23-25




・県内キャンプ場での実地掲載・張り出し

ex. くるくまキャンプサイト@南城市



・離島キャンプ場への配布・郵送
ex.伊是名村

HOW TO? 焚き火 基本のマナー



ポイント

薪には大きく分けて焚き付けに最適な針葉樹と、火持ちの良い広葉樹があります。用途によって使い分けましょう。特性を把握すると燃え始める時間を正確で安全に切る時間を調整しやすくなりますよ！

枯った薪は水分を多く含むことがあります。燃やすと煙が出て、火が燃えたり煙が多く出ることにも。選ぶポイントは、バケツと簡便に折れる乾燥した枝です。

主な焚き火道具

- 焚き火台
- 耐熱焚き火台シート
- トング・火ばさみ
- ナイフ・鉈・斧（薪割り用）
- ライター・マッチ・ファイヤーライター
- スチールなど（火おこし用）
- 灰受け、麻紐、チーククロスなど（灰受け・火口用）
- 火吹き棒 ● 耐火グローブ
- 水・火消し器（消火用）
- 火の粉に強い服装

焚き火台を使う目的

後片付けを簡単に。地面へのダメージを最小限に抑えることはもちろん、次に同じ場所を使う方や整理されている方へ配慮し、後始末をしっかりと行おう。元あった状態に戻す観察への配慮も大切です。

気をつけること

- 直火は許可された場所でのみ行う
- 火の粉や煙の散れる方向に配慮し、無風時の焚き火は避けよう
- 枯草や木、化繊タープなど燃えやすいものが近くに無いが注意しよう
- ゴミを焚き火に突っ込むと有害物質を発生させることもある。所定の場所に捨てよう
- 必要以上に炭を大きくし過ぎない
- 火から目を離さない。風で大切な道具が焚き火で炙り焼けてしまうことも、就寝時には消火しよう
- 焚き火台に直接水をかけて消火すると水蒸気や灰が飛び降り火傷の危険も。急激な温度変化で焚き火台が変形、歪みが出る場合もあるので、火消し器などを利用しよう
- 炭・灰捨て場には完全に消火して捨てよう

ルールマナーを守ってみんなで楽しい焚き火ライフを♪
自然には戻りません。知っていましたか？！
意外と知らない焚き火の世界。この機会におさらいしてみよう☆

OUTDOOR SHOP
NEOS CAMP

〒905-0603
沖縄県島尻郡伊是名村字仲田177-7
伊是名村役場商工観光課

キャンプ沖縄事業協同組合
〒905-0222
沖縄県宜野湾市大原3丁目3-9 Y6-A
090-4672704
cooperative.camp.okinawa@gmail.com

2022年4月22日

この度は、ご多用のところ、
沖縄県域のキャンプWEBマップの件にて、
御キャンプ場の写真使用の快諾・ご協力をいただきまして、
誠にありがとうございます。

遅ればせながらお送りしますが、
メールでお送りいたしました焚き火マナーに関するフライヤーを敬称お送りいたします。ご査収くださいようお願い申し上げます。

協力のご要望等ございましたらいつでもお問い合わせください。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

キャンプ沖縄事業協同組合 島田 久美 支那
協賛

おきん
ふるさと振興基金

・②世界基準の環境倫理を学ぶ機会を沖縄(やんばる地域)へ誘致

キャンプ原則学ぶ

国頭 自然ガイドら14人

【国頭】キャンプ仲継事業協同組は18日、村長の「心んばる」の森で、キャンプの自然環境への負担を減らすための「事前の計画と準備」方法を学ぶ「Leave No Trace」のトレーニングを開いた。アウトドアや観光関連事業者のスタッフ、自然ガイド14人が参加。環境に与える影響を最小限にアウトドアを楽しむ「リーン・トレース」の考え方を効果的な指導方法を体験して学んだ。

環境へ影響最小限に

ひろがる明日



9月18日実施された環境倫理研修会。事前の計画と準備の重要性を学ぶ。左から、国頭村長、参加者、指導員。

「国頭」キャンプ仲継事業協同組は18日、村長の「心んばる」の森で、キャンプの自然環境への負担を減らすための「事前の計画と準備」方法を学ぶ「Leave No Trace」のトレーニングを開いた。アウトドアや観光関連事業者のスタッフ、自然ガイド14人が参加。環境に与える影響を最小限にアウトドアを楽しむ「リーン・トレース」の考え方を効果的な指導方法を体験して学んだ。



工房建設の

国頭オキナワカ

「大宜味」国頭「オキナワカ」が、新築の工房建設を進めている。国頭オキナワカは、国頭地域の産品を加工・販売する工房を建設中。完成後、地元産品の加工・販売に貢献する。建設予定地は、国頭地域の自然環境に配慮して建設される。建設予定地は、国頭地域の自然環境に配慮して建設される。

環境倫理 やんばるで普及へ

世界自然遺産

やんばるの自然環境

【北部】世界自然遺産に登録された沖縄島北部のやんばる地域で、自然の利用と環境保全の両立に向け、米国の発祥した環境倫理「Leave No Trace」の普及が、具体的な取り組みがはじまっている。国頭オキナワカが、具体的な取り組みをすすめている。国頭オキナワカは、具体的な取り組みをすすめている。国頭オキナワカは、具体的な取り組みをすすめている。

自然利用は 痕跡残さず

- ダメージを残さずに自然を楽しむための7原則(一部抜粋)
- 事前の計画と準備
 - できる限りゴミが少なく、なるべくパッキングしよう
 - 影響の少ない場所での活動
 - キャンプサイトは植生が少なく、できる限り小さく設置しよう
 - ゴミの適切な処理
 - トイレは20センチ程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
 - 見たものはそのままに
 - 文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
 - 最小限のたき火の影響
 - すべての薪が灰になるまで燃やそう
 - 野生動物の尊重
 - 野生動物にエサをあげないようにしよう
 - 他のビジターへの配慮
 - 自然を静かに楽しもう

「保全の技術」7原則明記



「Leave No Trace」の7つの原則が書かれた本を持つ国頭村企画商工観光課長の仲実真智さん。7月20日、国頭村役場にて。仲実真智さんは、国頭村の自然環境を保護するために、自然の利用と保全のバランスを維持することが大きな課題。LNTを普及し、利用者や来訪者の意識を高めてほしいと語る。やんばる3村のアウトドア事業者や行政に働きかけ、普及を促している。(真智 真智)

呼び掛けるような言い回しが特徴。国頭オキナワカは、自然環境を保護するために、自然の利用と保全のバランスを維持することが大きな課題。LNTを普及し、利用者や来訪者の意識を高めてほしいと語る。やんばる3村のアウトドア事業者や行政に働きかけ、普及を促している。(真智 真智)

・③生きる力を身に付けるための子ども(小中学生)向け焚き火レクチャー



弊組合員間で実現した、子ども向けの焚き火ワークショップの様子です

* キャンプ人口のマナー啓発に関する企画案
(2022/10付にて日程や適切なアプローチ等を調整中、再検討中のため未実施)

海/山/森
キャンプ場
3ヶ所での
連続開催!

Good Manners, Good Camps.

参加者は
前泊/後泊
キャンプ代
割引*

**合同 グッドマナー
アウトドアミーティング&体験会**

<p>10/23 sun</p> <p>“キャンプ場の利用規約を今一度考えてみよう”</p> <p>・カヤック/SUPで近くの無人島へ行ってみよう</p> <p>NEOS アウトドアパーク 南城 德里氏</p>	<p>11/13 sun</p> <p>“キャンプ場開業物語を通じて”</p> <p>・円錐カルストをハイキング ・焚き火/野営レクチャー</p> <p>KARST CAMPSITE 升谷氏</p>	<p>12/18 sun</p> <p>“世界自然遺産から見つめる、自然と人間”</p> <p>・全国の半数の鳥たちを探そう *天体観測施設で星空案内</p> <p>国領村 森林公園 キャンプ場 下地氏</p>
---	---	---

参加プラン

① ¥5,000 /1名 - アウトドアミーティング (3回分)

② ¥20,000 /1名 - アウトドアミーティング (3回分)
・体験ワークショップ@3カ所 (3回分)

*③ ¥8,000 /1名 - アウトドアミーティング (1回) ・体験WS (1回)

▲お申込ページ

-----▲テキストはここ-----▲

■2.キャンプ場などを中心とした業界ネットワーク形成

“県内キャンプ場らのネットワークづくり”に資する取組みを行いました。

・①沖縄県内キャンプ場MTG 企画・実施

ex. Zoom会議で2022年6月に実施。12カ所16名のキャンプ場運営関係者が集う。



・②沖縄県の本島・離島のキャンプ場をマップにとりまとめたWEBページの開設

camp-o.peewee.jp

沖縄CAMP MAP
沖縄本島・離島のキャンプ場マップ

絞り込み検索

エリア: **ALL** 北部 中部 南部

カテゴリ: 海 林 丘 森

オートサイト ペット可 ソロ料金あり 焚き火可

直火可 電源使用可 ウッドデッキあり

レンタルあり シャワーあり ゴミ回収あり

夜間管理人在中

表示件数: 27件

アダンビーチ

〒905-1501
沖縄県国頭郡国頭村 ☎
0980-41-8500 ☎

カテゴリ
オートサイト/焚き火可 /シャワーあり

やんばる学びの森

〒905-1504
沖縄県国頭郡国頭村安波
1301-7 ☎
0980-41-7979 ☎

yanbaru-manabi.com ☎

カテゴリ
オートサイト/ソロ料金あり/焚き火可/電源使用可 /シャワーあり

くるくまキャンプサイト
丘の上から、海を眺められるキャンプ場。くるくまカフェも併設しており、夜事も楽しめます。(紹介制) [Googleマップで見る]

2022年4月に公開

* 沖縄タイムス住宅新聞2022年8月2日号でも活用、掲載

管理者のいるキャンプ場を紹介します。それぞれ、利用規約などが異なるので注意してください。ごみ、たき火の燃え残りの炭などは持ち帰りをお願いしているキャンプ場もあります。その際は繰り返しあるコンビニエンスパーで捨てないようにしてください。夏のキャンプは暑さ対策も大事です。熱中症対策をきちんとし、楽しんでください。(=7面から続く)

協会/キャンプ仲業者協同組合
同組合ホームページ: <https://okina.camp.com> の沖縄キャンプ場WEBマップより掲載 (2022年7月時点の情報)
※一部のキャンプ場については、その運営の方針を受けて掲載していない場所もあります。設備や規制などは変更になっている場合もあります。

* ③. マナー向上につながる取組みとして、キャンパー(キャンプをする人、消費者)・キャンプ場・アウトドアショップの連携を促す事業を展開予定

prtimes.jp

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス

沖縄からキャンプ人口のマナー向上による持続的なキャンプ業界の発展を目指し、キャンパーやキャンプ場、アウトドア用品販売店等で繋がるキャンプコミュニティ参加の事前受付を開始

今後、特典としてキャンプ場・キャンプギアがお得に使えるなど、コミュニティ向けサブスクリプションも展開予定

CAMP-O 協同組合

2022年7月18日 13時30分

沖縄県の認可を受け、キャンプ場運営者・用品販売店・体験事業者等のキャンプ関連事業者が集う事業協同組合を国内で初めて設立(注1)した、CAMP-O協同組合(正式名: キャンプ沖縄事業協同組合 沖縄県宜野湾市 代表理事: 下地正敏)が、グッドマナーを持つキャンパーの増加やキャンプ場等が立地する地方の持続的な成熟を目指し、沖縄県域のキャンパー・キャンプ場・キャンプ用品販売店など、県内外問わず関心のある方々で繋がるキャンプコミュニティの参加事前受付を開始しました。今後、特典としてキャンプ場、キャンプギアがお得に使える会員制サービスの展開も進めています。

プレス記事URL : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000105029.html>

■3.県外参入対策

“沖縄の事業者らによるインターネットでの窓口作成”など。

・①沖縄キャンペーンの発信

ex.NHK福岡放送局のTV番組への現地出演(10分強)



・②弊組合員の体験予約受付/決済ページの開設



パワースポット久高島でサイクリング！女子キャンプ！

¥16,500 - ¥22,000

港に集合
久高島へ船で渡ります
島に到着後、お昼
自転車を借りてサイクリング
おやつ
テントの準備
夕食の準備
サンセットを見ながら乾杯♪
夜は焚き火とBBQをします(ご希望あれば花火)
翌朝、朝食作り
ヨガやビーチ散策
写真撮影
解散
(料金は1名から 要相談)

選択する

数量

キャンプに参加する

YUKAの空き曜日

(火) / (木)
日帰り

(土) (日) (月)
宿泊

*新型コロナウイルスによる影響も鑑み、2022/09時点では当HP経由では本格稼働しておりません。

【現状と今後の展望】

一年余りの当事業による各種取組みを通じての所感として、マナーに関する啓発はある種、キャンプの文化を形成することにも通じ、時間がかかる点を痛感しております。

同時に、キャンプのスタイル、やり方は多様であるため、その多様性を尊重する上では、ルールとしての強要・押しつけになってはいけないと感じます。

持続的なレジャーの享受ならびにアウトドア関連事業継続のための環境づくりには利用マナー等に関する取組は不可欠であることも、改めて各事業者や利用者とともに再確認できた現状です。

上記取組みにあげる環境倫理(LNT)の普及やコミュニティ事業の展開など、多方面かつ地道な活動・発信は継続して展開しつつ、同時にゲームチェンジのような発想と手法の転換/発明も求めて対話と実践を続けていきます。

【謝辞】

この度は当基金の助成先に採択頂きまして、誠にありがとうございます。設立1年も間もないわたくしたちにとって、今回のご支援は、非営利・営利の両面から沖縄での事業活動の推進に必要な基盤・環境づくりに資する上記活動の立上げ・展開に大きな力となりました。

今後も〈キャンプを通じた沖縄のアウトドア/自然環境保全と持続的な地域振興〉に向け、引き続き当事業等の推進に邁進いたします。